

本書の特長

● 1人で抱え込む個人学習は……



● 協働学習ならガッチリ効率がいい！



(コラム②⑩⑪も参照)

本書の構成

このテキストでは、同じクラスの仲間とのワークや話し合いを通して、表現する力、コミュニケーションの力、考える力などを養っていきます。テキストの構成は以下のとおりです。

Part 1

スピーチをする心構えや知っておくとよいことなどを学ぶパートです。スピーチにおけるコミュニケーションを成立させるための3つのポイント「聴衆分析と話題選び」「話し手の心得」「聞き手の役割」について学びながら、Part 2 で実際にスピーチをするための準備をします。

Part 2

実際にスピーチの内容を考え、クラスメートの前で話します。各章に設定された学習目的を意識しながら、スピーチの準備を進めていきます。クラスメートと協働で行うワークや対話を通して、自分やクラスメート、モノについて発見をすることを重視しています。

● 付録1. ペチャクチャ質問集

みんなで話すためのトピックリストです。ウォーミングアップの際などに使えます。日本人学生と留学生が使えるようにバラエティー豊かな質問が揃っています。クラスメートにどんどん質問して、お互いのことをもっと知りましょう。自分を表現し、相手の話を聞くことは、スピーチの準備にもなります。

● 付録2. スピーチクラス「発表者・聞き手あるある」

スピーチやプレゼンテーションをするときに気をつけたい癖のリストです。また、クラスメートの発表を聞くときの癖も載せています。ちょっとユーモアのある呼び方をしながら、自分の「発表するときの癖」と「聞くときの癖」に気づき、直してみましょう。

● 別冊「自己評価シート」

自分のスピーチを振り返り、先生からコメントをもらうためのシートがついています。「①話し方の自己評価」と「②内容の自己評価」の2種類のシートがあります。自分が発表している動画を見て、自己評価を記入します。

● 無料ダウンロード『活動のヒント集』（教師用参考資料）

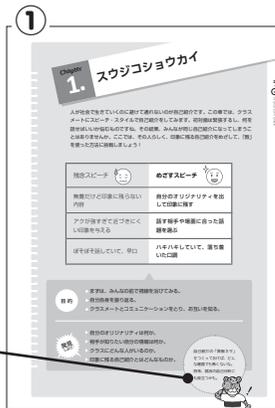
授業の進め方の例や留意点をまとめたヒント集です。アイスブレイクのためのアクティビティの例もあります。下記よりダウンロードしてお使いください。

<http://www.bonjinsha.com/wp/speech>

Part 2 の構成と使い方

各章は、基本的に、①その章の目的、②ウォーミングアップ、③個人やグループでのワーク、④スピーチまたはプレゼンテーションの準備、⑤発表、⑥コラムからなっています。

まず①の目的を見て、何をめざして頑張ればよいか確認しましょう。

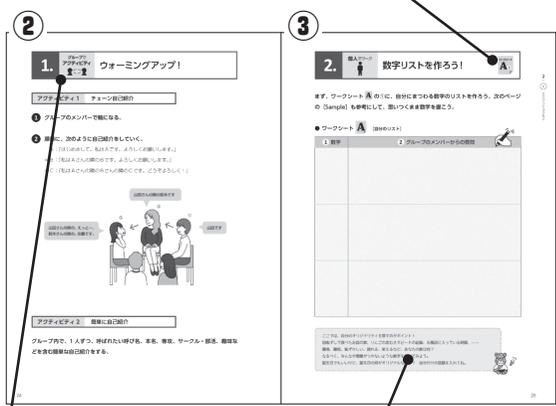


このスピーチを学ぶことで身につく力やその力が役立つ場面を紹介しています。

②のウォーミングアップでは、そのユニットで身につけたいスピーチの力を、アクティビティなどを使って練習していきます。グループワークを楽しく円滑にするための準備としての役割もあります。

③では、ワークシートやグループメンバーとの話し合いを通して、スピーチの内容を決めたり、確認したり、深めたりします。自分1人ではなく、仲間と協力し合うことで進めます。

この活動で使うシートを示しています。



活動・作業には、次のようなものがあります。

グループでアクティビティ 	個人でワーク 	グループでワーク 	全体でワーク
-------------------------	-------------------	---------------------	-------------------

活動を成功に導くヒントを参考にしましょう。

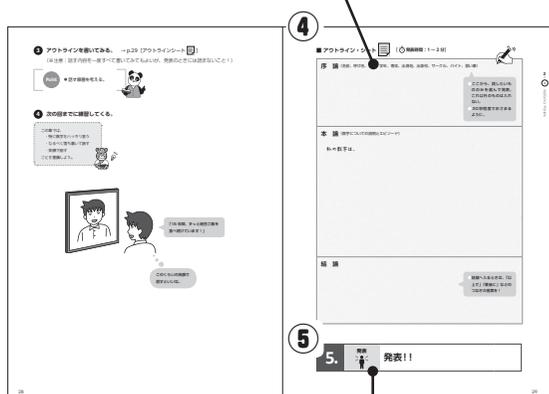
チューターの
チーター君

パンダ先生

④で発表のアウトラインを決めます。そして、そのユニットの目的が達成できるように練習します。

⑤はいよいよ本番です。クラスメートの前で発表しましょう。ここでは自分の発表の動画を撮り、後で確認できるようにします。また、聞き手は発表について評価をします。

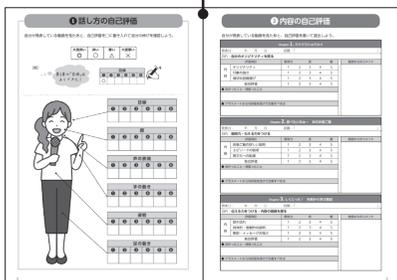
アウトラインシートです。
構成に沿って、話すことをメモしましょう。



聞き手のときは、評価をします。
「相互評価シート」(無料ダウンロード)
を使用します。



振り返りには、「自己評価シート」(別冊)
を使用します。



<http://www.bonjinsha.com/wp/speech>

⑥コラムには、各章を通して学んでほしいことや、心に留めてほしいことなどが書いてあります。これからの学びのヒントにしてください。

